



たもんじ 2023年11月号 交流農園便り Vol.68



シリーズ 業務連絡#23-03

野菜の土の作り方 講師 坂本武彦さん



このシリーズは主に農園会員さん向けに「業務連絡」的なものを、記事と画像(YouTube)の両方で発信してまいります。今回のYouTube動画URLは、こちらです。

<野菜の土の作り方><https://youtu.be/fvYngHj35P4>

まず初めに土の酸度のチェックを致します。測る前に十分水を撒いておくようお願いいたします。土を手で握ってもらって固まるくらいがベストです。そこで酸度計を差し込んで図ってください。目安としてはPH 6.5がベストです。酸性が強い場合は、苦土石灰を散布致します。1㎡当たり100~200g、土が白くなるくらいを全体に撒くといいと思います。蒔いたら2

週間位土を寝かすとよりよいです。

次に堆肥を施します。野菜の成長に必要な三大栄養分は、N窒素、Pリン酸、Kカリです。その他にカルシウム、マグネシウム、鉄、マンガン、亜鉛などミネラル分が必要です。N窒素は=油かす、Pリン酸=骨粉または魚かす、K=草木等の灰やもみ殻くん炭に、だいたいのミネラル分は培養土に含まれています。堆肥置き場から、使用してよい堆肥を、1㎡当り1kgを目安に取り出し、これに加えて、腐葉土5ℓ、培養土4ℓ、油かす0.5kg、骨粉または魚かす0.5kg、米ぬか0.5kg、牛ふんまたはKURAMAEモデル2kg、もみ殻くん炭8ℓ(1/5袋)を畑に撒いて、全面によく攪拌してください。できればこのまま1か月以上寝かせて土によく馴染ませれば、いい野菜ができると思います。

うちの畑じまん 第34回 区画 07-1① 小柴さん



こんにちは。5月からお世話になっている小柴です。初めての野菜栽培に取り組んでから、早くも半年程経ちました。

初夏には、ピーマン・きゅうり・ミニトマト・スイカ・モロヘイヤ・いんげんの栽培にチャレンジしました。初めてだったので、それぞれどの位の大きさに育つかも判っていない中、欲張って苗の間隔を狭めて沢山植えたところ、ミニトマトとスイカが予想外に大きく育ってしまい、他の野菜に被さってしまう事態になってしまいました。それでもミニトマト・きゅうり・いんげんなどは無事に収穫が進み、初めて自分達で育てた野菜を家で堪能しました！

一方で、スイカは葉と茎は大きく育って他の野菜のスペースまで浸食しているものの、中々実がつかません。ですが、ある時に大きなひょうたんのような実が出現しているのを発見しました！スイカにしてはしま模様無く、どう見てもひょうたんなのですが、不慣れな私はこれをスイカと思いこんで、「いずれしま模様も出てくるのでは。」と成長を見守っておりました。

しかし、一向にスイカにはなりません。インターネットで調べたところこれはスイカの苗木に使っている夕顔が育ってひょうたんが実ってしまったようでした。結局、ひょうたんを収穫することになり、スイカはまたのチャレンジとなりましたが、勉強になりました！

この様に慣れない事も多く、戸惑いもありますが、困っていると農園の皆様へアドバイス頂けたりしますのでとても有難く、これからも頑張っていこうと思います！





向島を家の中山です。いつもいつも畑の先輩方に助けられ、失敗もたくさんありますが、いろいろな野菜の収穫で、たくさんの人を笑顔にでき、嬉しいです。今夏は、社内のスタッフ2名が、水やり中心に畑作業に応援に加わり、猛暑を乗り切ることができました。

「デイサービス」の会社のため、「デイサービス」に来ている高齢者の方たちと、収穫したり、種まきしたり。先日、たくさん立派なサツマイモの収穫に、とびきりの笑顔がみられました。昔、畑をやっていた方だったり、単に屋外に出た気持ちよさだったり。理由はさまざまです。普段、部屋の中にいることの多い要介護の高齢者の方々なので、天気の良い日に屋外に出るだけで、表情も良くなります。

今年の畑で、予想外のことが、いくつか、。まずは、悪いほう。キュウリが、3回枯れました。暑さに勝てなかった、ということにしておきます。そして、良いほう。サツマイモのツル？茎？葉っぱも、たくさん美味しく食べました。葉っぱは、おひたしや天ぷら、茎はキンピラ風にして。ビタミンCやミネラルは、芋そのものより、豊富だとか。こういう「予想外」、楽しいですね。

今、収穫している小松菜も、「生」でサラダにして食べると美味しい！「ハマってます！」今秋は、初めて玉ねぎにチャレンジします。NextStageも引き続き新しい野菜、育てたことがない野菜に挑戦し続けます。美味しくたくさん、できますように！！これからも、よろしくお願いします。



個人情報保護のため、個人を特定できないよう、修整しております

“てらたま農園部から”

第24回～ジャガイモのゴロゴロ植えその後～



先月号で、10月1日にジャガイモのゴロゴロ植えを行なったとお伝えしました。ジャガイモはその後元気に育ったでしょうか？ 育ってま～す！ 写真は11月8日の様子です。ただ残念なことに暑さのせい、種イモが数個マルチの中で腐ってしまったのもあり、反対にまだ芽を出さないのもあり、それぞれです。11月5日には、元気なジャガイモの芽かきをして3本立ちにしました。そして、芽かきをした中から元気そうな株を選んでジャガイモ畝の空いたところに植えて、すぐ横に支え棒を立てました。これもいずれ、収量は少ない(5～6個ぐらいでしょうか)でしようが、実となってくれることでしょう。



ところで、ニンジンの写真、何とも悩ましい形になってしまいました。菌ちゃん畝に8月末に種を蒔いたものですが、1年目の今年は土の中にまだ菌ちゃんのエサ(木屑や竹チップ)がごつごつと形を残しているせいでしょね。

水口アドバイザーご指導日: 11/26(日) 12/24(日) 10:00～15:00

農園部作業日: 毎週日曜 9:00～

落ち葉による温床のための温室つくりワークショップ(10時～16時) 参加自由

11/19(日)、11/23(木祝)、11/26(日)、12/3(日)、12/10(日)、12/17(日)、12/24(日)

【調整くん】 <https://chouseisan.com/s?h=ea79f76411444934a5cce7de5124920e>

たもんじ交流農園便り No.68 般 2023.11.19 発行 題字 田村風来門 編集 末林和之



てらたま協議会

(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会) 問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)

▲セブン-イレブン 記念財団 (2018年 2020年に助成金を頂きました)

